

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている (年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である (一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書に沿った施設の運営がなされており、区との連絡調整及び情報共有も迅速に行っている。また、職員全員がAEDの取扱いについて受講済で資格の更新管理も行う等、高齢者が利用する施設として適切な施設運営を行っている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	介護予防教室やことぶき教室等、事業計画書に基づき施設の目的に沿った運営がされているが、利用者数は減少している。利用者増に向けた継続的な取組が求められる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	併設している産業研修センターと情報共有しつつ、業者委託により建物保守、施設設備の定期的な保守点検を実施している。また、職員が定期的に館内見回りを行い、危険個所の有無を迅速に把握するように努める等、適切な維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	ことぶき教室の「カラオケ」等、参加人数の増えた事業もあるが、介護予防事業の回数と参加人数が減少し、結果として橋場老人福祉館全体の利用人数も減少している。よりきめ細やかな満足度調査結果の把握と利用者数改善に向けた継続的な取組みが望まれる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	前年度と比較して人件費、業務委託費の増により支出が増加し、結果としてマイナス収支になっている。サービス水準を維持しつつ、さらなる効率的な運営に努め、収支を改善する必要がある。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好 (110~101) ・ 良好 (100~91) ・ 適正 (90~70) ・ 改善指示 (69以下)

良好 (96 / 110点)	【所見】 全体として適切な管理運営がなされており、ことぶき教室の「カラオケ」等、参加者数が倍増した事業もある。他の老人福祉館と共にホームページ等で行事案内を分かりやすく掲載する等の取組みも継続して行っている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 ことぶき教室は参加者数が増加しているが、介護予防教室等の参加者数が大きく減少しており、全体的な利用状況の改善が望まれる。また予算収支に沿った、より効率的な運営を行い収支を改善する必要がある。